

謹 賀 新 年

湯 布 院

第54号

発行所・由布市湯布院町川上
発 行・湯布院駐屯地後援会
印刷所・大野印刷株式会社



年頭の辞



西部方面特科隊長兼
湯布院駐屯地司令

一等陸佐 三宅 優

皆様あけましておめでとうございます

昨年の三月から特科隊長として勤務しておりますが、協同対艦攻撃、水陸両用戦における統合火力運用等の任務に邁進して参りましたが、このため鎮西26演習では能美大島、種子島、沖永良部島の島嶼の他、佐世保、春日、横田の海空自衛隊の基地に赴き各所に展開する部隊を指導し、また調整の末を上げることができました。当に、昨年策定されました新防衛大綱・中期計画で明確化された統合機動防衛力構想を正面に捉え、馬が駆けるが如く新たなものに挑戦していた感がありました。この他湯布院所在部隊は大分南部を隊区に持つことから、佐伯市を主体とする南海トラフ対処にも取り組み、年末もCPXにより計画の具体化を図って来たところで、これに加え、今年から、南西諸島の防衛体制の強化、水陸両用戦機強化等のため、体制改革事業も推進して参ります。

地域の皆様とは春の親睦会、夏の納涼大会として十月末の記念日行事と大変お世話になりました。また我々も湯布院や湯平温泉のお祭り、金鱗湖近辺の清掃、花一杯運動そして若宮八幡のお祭り等で皆様とも深い絆を築けていると確信しております。「地域とともに歩む駐屯地」として目標を掲げておりますので、引き続き宜しくお願ひ致します。



西部方面特科隊長
湯布院駐屯地最上級曹長

准陸尉 板村 浩

新年あけましておめでとうございます

皆様におかれましては、お健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。本年も昨年同様、上級曹長制度の充実向上を図るべく指揮官の補佐者として、第三の柱である上級曹長業務システムを効果的に機能させるとともに、駐屯地曹友会との連携を保ち隊員のために何が出来るかを行動方針として、任務に邁進していく所存です。ご支援、協力の程よろしくお願い致します。最後に、新年が皆様方にとりまして良き年でありませう。ご健勝とご多幸を祈念致しまして新年のご挨拶とさせていただきます。

平成二十七年 元旦

年賀あいさつ



由布市防衛協会会長

由布市長 首藤 奉文

新年あけましておめでとうございます

皆様には輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶びを申し上げます。「あくなき執念を燃やせ」を要望された三宅駐屯地司令のもと、我が国の平和と国民の生命と財産を守るべく志堅く昼夜訓練に精励されています。湯布院駐屯地の皆様へ衷心より敬意を表します。とりわけ昨年の八月開催いたしました、「大分中部地区総合防災訓練」と特殊車両等の派遣をいたしたき有意義な訓練を行うことができました。訓練を通して湯布院駐屯地の機動力の高さと有事の即応体制を確認させていただきました。改めて駐屯地のありがたさとその存在を心強く感じましたことでもあります。さて、由布市は本年、合併十年の節目を迎えます。

由布市誕生以来、行財政改革を断行するとともに、「選択と集中」により効率的、効果的な市政運営に邁進してまいりました。今後、「融和」「協展」を基本理念とした新たな施策により由布市のまちづくりに取り組んでいく所存であります。

結びに、湯布院駐屯地の益々のご発展と、三宅駐屯地司令をはじめ、隊員とご家族皆様のご多幸と健勝を心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。

平成二十七年 元旦



湯布院駐屯地後援会

会長 岩男裕二郎

新年明けましておめでとうございます

湯布院駐屯地隊員の皆様には輝かしい新年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

昨年八月の広島県南阿佐地区の土砂災害、十月八日、御嶽山の噴火による生存者救出、ご遺体の捜索等、自衛隊の災害支援活動を称賛する報道が、日々新聞、テレビニュースで流れていました。いま日本国は、自国で禁止している赤サングラスを日本の領海内で行っている船団には何の責任も取らず、一国の首相が国際会議で握手する時に、苦虫を食い潰したような顔で視線を合わせないような礼節を欠いた人物が主筆となっている大団や、自国の新聞記事から転載した記事を書いた日本人のみを起訴し、法廷に出廷した日本人の車を投げつけるのを取り締まらない某国、ミサイルをすぐに発射する足を痛めた独裁者がいる国に囲まれ常に危険にさらされています。

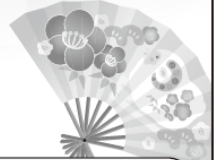
不測の事態を避けるためにも、自衛隊が国防のためにこの精鋭部隊であることを世界に示し続けることが必要です。当会は、日出生台演習場があるこの湯布院で、隊員がストレスなく訓練を行い、制服を脱げば同じ市民の人であること、市民の皆様と理解していただけるように活動しています。

開議決定で集団的自衛権の行使容認が決まりましたが、最前線である隊員たちが血を流さなくてはならない、命が守られないような法整備をして頂きたいと切に願っています。今年も湯布院駐屯地後援会と由布市市民の相互理解を深める活動を遂行してまいります。貴駐屯地の更なるご発展と隊員皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

平成二十七年 元旦



新 年 の ご 挨拶



佐伯市 西嶋 泰義 市長

皆様には、輝かしい新年をお迎えのこと心からお喜び申し上げます。湯布院駐屯地の皆様には、日本の独立と平和を守るという崇高な任務のため、日夜訓練に精励されていることに対して、衷心より敬意を表します。また、平素から当市行政の推進につきまして、深いご理解と協力を賜り厚くお礼を申し上げます。とりわけ防災行政におきましては、昨年六月の水防訓練及び十一月の防災訓練に、貴駐屯地の西部方面特科隊第一三三特科大隊から多数の隊員の方々にご参加いただき大変感謝申し上げます。特に、十一月の防災訓練で実施した「避難所運営訓練」では、避難者の輸送・救護所開設・運営、炊きだし等多岐にわたり実際の、実践的に御支援をいただき、大変有意義な訓練となりました。

九州一の面積をもつ当市においては、地震、津波に限らず土砂災害や風水害等あらゆる災害が予想されます。昨年は、二月に大雪による被害、三月に震度五弱の地震、八月以降に三度の台風接近・上陸等の災害が発生致しました。幸い大きな被害はありませんでしたが、近年の異常気象ともなう災害対策の重要性を再認識したところであります。

現在、当市でも防災対策に鋭意取り組んでいるところであります。今後とも、当市の市政運営に対し、変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、湯布院駐屯地の更なるご発展と隊員皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

平成二十七年 元旦

新年あけましておめでとーうございます



豊後大野市 橋本 祐輔 市長

皆様には、輝かしい新春をお迎えのこと心からお慶び申し上げます。

また、平素より当市の防災行政をはじめ、各種施策にご理解、ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は、全国的に二月の豪雪、八月の豪雨により大きな被害が発生しました。また、九月には御嶽山の噴火による被害も発生しました。

自然は、私たちの生活を支え、豊かにしてくれませんが、時に大きな脅威となり、被害をもたらします。行政は、自然災害の被害を人命最優先に最小限にとどめることが求められています。そのためには目頃から様々な被害を想定し、対応できるように準備をすることが重要であります。例年、貴駐屯地から当市の防災パトロールに隊員を派遣していただいていることは、当市の災害対策において大変心強いものであり、ありがたく存じております。

近年、あらゆる場面において、自衛隊の方々の活躍を目にする中で、益々国民が皆様方へ寄せる期待は大きくなっていると思っております。

また、行政を担う私たちにとっても、一朝有事の際にとても頼もしい存在であります。最後に、本年も貴駐屯地のさらなる発展と隊員の皆様のご健康、ご多幸を心からご祈念申し上げます。今後とも当市の市政運営に変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成二十七年 元旦

新年明けましておめでとーうございます



竹田市 首藤 勝次 市長

皆様には輝かしい新春をお迎えのこと心からお慶び申し上げます。

湯布院駐屯地の皆様には、我が国の平和と安全を守る重要な任務をはじめ、災害派遣や国際貢献など昼夜を問わず精励されていることに対して、衷心より敬意を表します。

また、平素より当市の防災行政をはじめ、各行事にご理解、ご協力賜り厚くお礼申し上げます。

近年の混沌とした国際情勢や異常気象による大規模災害など非常時における自衛隊の役割や自衛隊に対する国民の期待は大きく、並々ならぬものがあります。

このような情勢下、当市がたすきべきことは、過去の大水害を教訓に、湯布院駐屯部隊との連携強化など危機管理機能の充実強化に努め、安全・安心なまちを実現することであり、これこそが基本的な国土防衛の第一歩であると確信しています。これまで以上のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

結びに本年が平和で災害派遣のない年でありませう、あわせて湯布院駐屯地の益々のご発展並びに隊員皆様方のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

平成二十七年 元旦

第132 特科大隊



第一三二特科大隊長
二等陸佐
田久保 智

新年あけましておめでとーございませう
 隊員及びご家族並びに地域住民の皆様方には、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。
 昨年は、大隊検閲の受閲、統合訓練等への参加により、部隊として練度の向上を図ることができました。これも隊員一人一人の努力と、皆様方の心温かいご指導、ご鞭撻の賜であります。この場を借りて厚く御礼申し上げます。
 本年は、北海道で実施する実射検閲をはじめとする各種訓練や各種災害に迅速に対応できるよう、訓練を積み重ね、練度の向上に努めます。
 また、隊区である佐伯市及び地域の方々と、良き関係を維持したいと考えておりますので、ご支援ご協力の程宜しくお願い致します。
 最後に、新年が皆様方にとりまして良き年でありますように御勝ご多幸を祈念致しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

平成二十七年元旦

第5地対艦ミサイル連隊



第五地対艦ミサイル連隊長
一等陸佐
徳橋 浩志

謹んで新春のお慶びを申し上げます
 隊員、ご家族の皆様、そして協力会、OB会の皆様におかれましては、初日を浴びた由布のごく輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。
 昨年は、緊張する西諸島情勢に加え、自然災害等への対応が続く中、皆様は格別のご厚意を賜り厚く御礼申し上げます。
 連隊も、二年振りの連隊訓練検閲をはじめ、米国実射訓練、種子島の初演習など、多くの成果を残すことができました。
 今年は、新地対艦導弾システム（I2SSM）導入の前年度として、また陸上自衛隊体制改革二年目の年として、更なる部隊精進化に向けて邁進していきたいと思います。
 一、二頭の狼に率いられた百頭の羊の群れは、一頭の羊に率いられた百頭の羊の群れにまさるがごとく、引き続き「任務必遂」を統率方針として、信頼され、明るく前向きな「魁」がけ、連隊目指して日々精進してまいります。
 終わりに、皆様方のご健勝ご多幸をご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

平成二十七年 元旦

第302 観測中隊



第三〇二観測中隊長
三等陸佐
西 秀弘

新年明けましておめでとーございませう
 隊員並びにご家族皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。
 昨年は、新たに対艦レーダーP16も装備され、観測能力の向上を図るとともに、射撃・格闘・水泳訓練等を通じ任務に即応できる隊員育成に努めてまいりました。
 この間、皆様方から格別のご厚意を賜り厚くお礼申し上げます。
 本年は、即応態勢を維持しつつ中隊として着実に訓練を積み重ね、新たな時代に柔軟に対応し任務を完遂できるよう精進努力する所存でありますので、昨年同様ご支援ご協力をお願い申し上げます。
 皆様のご健勝ご多幸を祈念して新年のご挨拶と致します。

平成二十七年 元旦

本 部 中 隊



本部中隊長
一等陸尉
縫田 茂

新年明けましておめでとーございませう
 隊員及び御家族並びに地域住民の皆様方には、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。
 中隊長として2度目の正月を迎えることになりました。この間、皆様方から賜りましたご指導とご協力に對しまして心から厚く御礼申し上げます。
 本年も中隊一丸となり、任務である特科隊本部の機能発揮に最大限貢献できるよう邁進していく所存です。引き続きご指導ご協力の程、宜しくお願ひ申し上げます。
 新年が皆様方にとりまして、良き年でありますようにご健勝ご多幸を祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

平成二十七年 元旦

湯布院駐屯地 業務隊



湯布院駐屯地業務隊長
二等陸佐
岡崎 光洋

新年明けましておめでとーございませう
 隊員及びご家族並びに地域住民の皆様方には、ますます新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。皆様には平素から格別のご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
 本年の干支は未（へつじ）、群れを成す未は、家族の安泰を示し、いつまでも平和に暮らすことを意味するそうです。
 本年も「誠意をもって業務遂行」を合言葉に、業務隊一丸となり地域とともに歩む駐屯地及び演習場の業務向上に邁進していく所存であります。
 皆様方のご家族を含めたご健勝ご多幸を祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

平成二十七年 元旦

第112 特科大隊



第一一二特科大隊長
二等陸佐
山本英一郎

新年明けましておめでとーございませう
 隊員並びに御家族の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。
 昨年三月に大隊長を拝命し、あらゆる任務に即応すべく訓練等積み上げて参りましたが、この間、皆様方には一方ならぬ御厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。
 本年も皆様は信頼される部隊となるよう大隊一丸となつて隊務に邁進していく所存でありますので、引き続き御支援御協力の程、宜しくお願ひ申し上げます。
 最後に、皆様方の益々の御健勝と御多幸を祈念申し上げます。新年の御挨拶とさせていただきます。

平成二十七年 元旦

鎮西26演習

あくなき執念を燃やせ!!

西部方面特科隊は、十月二十七日(月)から十一月二十一日(金)までの間「鎮西26演習」に参加し陸海空自衛隊による協同対艦攻撃、水陸両用作戦等について演練した。演習開始に先立ち特科隊長は「鎮西演習は、これまでに各部隊が練成した各種訓練を試す場であり、また海空自衛隊と協同して行う訓練で、さらに計画の実効性を検証出来る絶好の機会でもある。各人は、任務達成のためあくなき執念を燃やすことに戦術・戦法を創造せよ。」と訓示した。

協同対艦攻撃においては、特科隊をはじめ第一地对艦ミサイル連隊(北千歳)、第二地对艦ミサイル連隊(美明)、第四地对艦ミサイル連隊(八戸)が参加し、日出生台演習場をはじめ種子島、奄美大島、沖永良部島の島嶼に展開した他、特科隊の一部を春日、横田の空自基地に配置させ、海空自衛隊と協同した対艦攻撃について演練し、事態対処能力の向上を図った。また、水陸両用作戦においては、第一二特科大隊長 山本二佐以下の隊員が護衛艦「いせ」などに統合火力調整要員として乗艦し、島嶼奪回における火力戦闘を実施した。



種子島に展開する第5地对艦ミサイル連隊



8Dとの協同訓練



特科隊指揮所



海自艦「しもきた」艦上のMLRS



地元の方々の歓迎

鎮西に参加した隊員の声

統合マインドを直接肌で感じる

私は、鎮西26に参加するにあたり、一つのテーマを持って訓練に臨みました。それは、「統合マインドを直接肌で感じる」です。私はこれまで、統合訓練に参加する機会がなく、「統合」の重要性を頭で認識してはいたものの、直接肌で感じる事ができませんでした。しかし、今回鎮西26に参加し、海上自衛官と現地において、発射機の移動要領、固定要領、弾薬再装填の実施要領等の調整を実施することにより、「統合マインド」を実感し肌で感じる事ができたと思います。当初は円滑な調整ができませんでした。こちらの要望を丁寧に説明するとともに、海自側の調整事項をしっかりと理解し、その上で何が最良の方法なのかをよく検討することができ、円滑な調整を実施することができています。また、方面總監の訓練視察を受け、総監より「よくやってくれた。君たちは陸上自衛隊の歴史に名を刻んだ。今後も戦技に習熟せよ。」と、熱い激励の言葉を頂き、西部方面特科隊員であることの喜びと自覚を、より新たにすることができました。

特科隊本部 二等陸尉 野原 匠

統合運用の時代において、「統合マインド」を理解することは全隊員に共通して必要不可欠なものです。南西諸島の防衛に任ずる西部方面隊の隊員としては、殊更にこのことを意識しつつ勤務にまい進する必要があります。今後、鎮西26での経験を活かす、微力ではありますが、「統合運用」の一端を担っていかれるよう努力していこうと思います。



あらためて平成二十六年を振り返ると、私にとって「激動の一年」という表現が相応しいと思っています。私は三月まで学校教育官として勤務していましたが、



年男・年女

年男から年女へバトンタッチ!



年月が経つのは早いもので、三回目の年男になったと思っているうちに、あっという間に年女を迎える時期になりました。年頭に「三回でも年男を迎える節目を新しく何かを始めよう」と決めていたはずでしたが、父親の体調不良から始まり、子供の進学、転勤・転居と

に必要な機能が欠けている事に気が付かれ、修正に大変苦勞しました。中でも体制改革は衝撃的な事項で、勤務環境の変化は少々覚悟していたものの、これからは自衛官としての勤務していく上で自身自身の意識改革の重要性を認識しています。特に「昔と違った件柄」で体制改革を乗り切るのは難しく、時には現場の若い隊員から教えてもらいながら自ら実践に学んでいかねばならないと感じています。

前回の年男は平成十四年から北方から湯布院へ異動した年でした。今回も東方からの異動です。次の年男は自衛官として迎えられる大きな節目であることは間違いないさす。一年を顧みつつ、未だバトンを渡します。

特科隊本部
三等陸尉 小坂 章雄

公私ともにあわただしい一年となり、結局「何を始めるのか」すら定まらないまま、目標の達成とは程遠い状態での新しい年を迎えることとなりました。

年男だけに「駆け抜けた年」になりましたが、改めてこの一年を振り返ってみると、結果的には無事に乗り越えることができ、新年を迎えることができました。

何よりも「家族そろって新しい年を迎えられる」ということが有難いことだと、と再認識させられました。良も悪も様々な出来事があった年でしたが、これを糧に新年をより良いものとするよう精進していきたいと思っています。

特科隊本部
一等陸尉 成迫 隆徳



新年明けましておめでとうございます。今年で二回目の年女を迎えました。入隊して五年、先輩方からの叱咤激励を受け念願の陸曹になりました。現在部隊補給業務の助手として取り足取り指導を頂いて何とか業務をこなしています。業務内容の奥深さや陸曹としての未熟さを痛感しています。

これまで訓練で辛い時や進路で悩んだ時には必ず上司・同僚、同期、後輩、家族に支えられて来て今の私がある。感謝の気持ちで一杯です。ですから、支えられる側から支える側になることが重要で、事務能力や車両操縦特技等の経験を積んで陸曹として任せられる

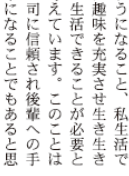
私は今年で二十四になり、湯布院駐屯地に配属されて初めです。先輩方が湯布院であり、まだ社会人として右も左もわからぬ自分に対して指導していただいた周りの皆様に感謝しています。私の抱負としては、「初心を忘れず礼儀正しく」を目標に頑張っていきたいと思っています。三年という月日が流れ、まだまだ若輩者ですが、入隊当初に比べるべくも、言葉遣い等のあらゆるところが慣れとともに薄れ



てきたような気がします。きちんとした礼儀は、する人もされる人も嫌な気持ちにはなりません。これから礼儀をきちんとして人ととの交流を大切に、日々精進していきたいと思えます。

また、仕事の面では施設管理係として消防設備士等の資格をとってスキルアップしていきたいです。

駐屯地業務係
事務官 金城 大輝



私の成人の抱負は「飛躍」です。これは私が一人の人間として、又一自衛官として成長し、強く大きく飛躍したいという思いを込めてこの抱負にしました。

最初に人間としての成長ですが、まずは両親を安心させてあげたいです。今までの私は社会人になったにも関わらず親に頼ったり、指して行きたくないと思

第三六八施設中隊
三等陸曹 日吉 文乃



成人の抱負を語る前に、まず両親に対し感謝の気持ちを伝えたいと思います。五体満足で産んでもらい、そしてここまで大きく育ててくれて本当にありがとうございます。今はただ感謝の気持ちでいっぱいですが、

私は、この感謝の気持ちを成人になった今少しずつ恩返ししていこうと考え

体を感じかけたりと遠慮ばかりかかっています。十人兄弟の長男として恩返しがあり過ぎていたなかつたので、この先は金銭面等でしっかりと援助し両親や兄弟の笑顔を見守れるような存在になりたいです。



次自衛官としてですが、陸曹になるということはもうすでにありますが、技術や知識がこれまでに以上に習得し、周りから信頼され必要とされる自衛官になりたいです。

以上が私の成人の抱負ですが、今述べたことを実現するため、まずは成人であるという自覚を持ち一日一日を大切に、強く速く飛躍できるように人間になりたいです。

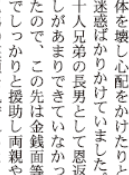
本部中隊
陸士長 檜原 健悟



この度、私は成人を迎えることになりました。月日が経つのは早いもので、今まで自分が成人になることなど考えたことなどありませんでした。

成人してから自分の抱負は、「何事にも積極的に取り組む」ことです。現在、会計連絡係として出納業務を行っていますが、業務に取り組み姿勢に積極性が必要であり、自分が担当している業務だけでなく多くの幅広い範囲の仕事と知識についても積極的に覚えていきたいと思

そして、今年陸士として最後の目標である陸曹候補生試験合格を目指し、自学研鑽頑張っていきたいと思



私は、今年で二十歳になりその上で頑張りたいです。一つ目は、精神力・体力の強化です。私は、心が弱く上司や先輩から依頼されたことに「はい」としか言っておりませんでした。しかし、自分の考えをしっかりと発言することは大切であると感じ、これから頑張りたいと思います。

また、私は体力がないため今まで進んで体力養成等をしていませんでした。しかし、統制の体力練成が始まり、少しずつですが苦手な種目の記録

ことを目指しこの多くの人たちへの感謝の気持ちを忘れることなく、頑張っていきたいと思

私は、今年成人式を迎えることができました。今度振り返ると色々ありますが、あつという間の二十年でした。私の成人の抱負は三つあります。一つは「今までは遠い今年からは自衛隊ではもちろん社会からも大人として扱われます。何事にも自分の行動に責任が伴われるので自覚ある行動をし、心身ともに成長していきたいと思

なりたいです。二つ目は、私は中隊の通信小隊無線班に所属しています。信務知識・技能を向上するために、より一層訓練に励ま

のびてきて、やれば出来るというところがわかりました。これからは、自分なりに合意をいれて継続分が後輩に指導できるようなになりたいです。これらのことを二十歳の目標とし頑張っていきます。

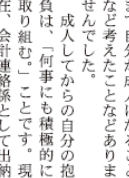
直設支援隊
一等陸士 笠村 雄起



最後の抱負は、私には大切な妻と生まれたばかりの子供がいます。一人の父親として妻と子供を守っていかねばならないので一日一日を大切にしたいと思

第三〇一観測中隊
陸曹 松藤 一輝

新成人 20歳の抱負



新成人 20歳の抱負

新成人 20歳の抱負

新成人 20歳の抱負



番匠方面總監初度視察(3.3)



隊戦技競技会らっぱ(2.26)



日米共同訓練IF14(1.16~3.4)



訓練初め(1.7)



三宅優1等陸佐着任(3.28)



隊戦技競技会炊事(2.27)



駐屯地成人行事(1.9)



曹友会清掃活動(5.10)



湯布院温泉まつり(4.20)



駐屯地観覧会(4.6)



自衛官候補生入隊式(4.5)



春風コンサート(3.15)



由布岳山開き支援(5.11)



第112特科大隊訓練検閲(6.13~16)



第101特科直接支援隊(6.13~16)



第5地対艦ミサイル連隊訓練検閲(5.21~25)

プレイバック2014



小野寺元防衛大臣視察(6.21)



防衛・防災フェア(7.12~13)



湯布院中学職場体験(7.8~9)



総合的学習支援 佐伯市日本文理大付属高校(7.3)



大分県中部地区総合防災訓練(8.30)



駐屯地納涼大会(8.4)



第132特科大隊訓練検閲(7.22~25)



業務隊緊急登庁訓練(9.4)



特科隊訓練(8.31~9.4)



佐伯市防災訓練(11.9)



駐屯地記念行事(10.26)



日出生台演習場弾着地防火帯野焼き(10.9)



ゆふいん盆地 SPA健康マラソン(9.7)



大分弾薬支処防火帯整備(11.25)



演習場定期整備(10.14~24)